

LPM-CA20FP3 V02B

INTERNAL PC Card ADAPTER

PCカードアダプタ・ ユーザーズマニュアル

LPM-CA20FP3
LPM-CA10RP



Logitech

目次

取扱い上のご注意	1
ロジックソフトウェア使用権許諾契約書	4
ごあいさつ	6
ご注意	6
付属品の確認 (LPM-CA20FP3).....	7
付属品の確認 (LPM-CA10RP)	7
第1章 製品のご紹介	8
1.1 製品の概要	8
1.2 使用環境について	9
1.3 各部の名称と使い方	12
1.4 ご使用上のご注意	14
第2章 接続について	15
第3章 Windows XP, 2000 で使用するためには	20
3.1 ドライバのインストール	20
3.1.1 Windows XP の場合	20
3.1.2 Windows 2000 の場合	21
3.2 インストール結果の確認	24
第4章 Windows Me で使用するためには	25
4.1 ドライバのインストール	25
4.2 インストール結果の確認	30
第5章 Windows 98 で使用するためには	31
5.1 ドライバのインストール	31
5.2 インストール結果の確認	38
第6章 補足事項	39
6.1 トラブルシューティング	39
ハードウェア仕様	40

取扱い上のご注意

本製品を正しく安全に使用するために

- ・本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
- ・本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。

表示について

- ・この「取扱い上のご注意」では以下のような表示（マークなど）を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。



警告

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。



注意

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。



三角のマークは何かには注意しなければならないことを意味します。三角の中には注意する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは感電に注意しなければならないことを意味します。



丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。

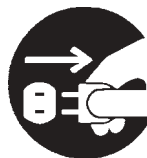


塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行わなければならないことを意味します。丸の中には行わなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは電源コードをコンセントから抜かななければならないことを意味します。

警告

接続時は電源コードを抜いてください。

本製品をパソコン本体に接続するときには、パソコン本体の電源をOFFにして、電源コードをコンセントから抜いてください。



濡れた状態で使用しないでください。

PCカードに水などの液体が付着した状態で、本製品に装着しないでください。故障、感電、火災の原因となります。



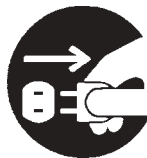
分解 / 改造しないでください。

本製品を絶対に分解 / 改造しないでください。感電や火災の危険があります。分解の必要が生じた場合は販売店にご相談ください。



万一、異常が発生したとき。

本製品もしくはパソコン本体から異臭、異音や煙が出た時は、ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



注意

感電 / 火傷などに注意してください。

- ・パソコン本体内部には感電の危険性がある部分があります。感電には十分注意してください。
- ・電源 OFF 直後のパソコン本体内部には、高温の部分（CPU など）があります。火傷しないように注意してください。
- ・パソコン本体内部の金属部分や基板の裏側に、不注意に触れるとケガをすることがありますので注意してください。



静電気対策をしてください。

本製品およびパソコン本体内部には、静電気に弱い部品があります。静電気のたまりやすいカーペットの上などにおかないでください。また、接続の前にパソコン本体の金属が露出している部分に触れて、体内の静電気を放電してから作業を行ってください。接続時、不要な部分にはなるべく触れないでください。



ご使用の前に必ずお読みください。

ロジックソフトウェア使用権許諾契約書

本契約は弊社とお客様との間で締結されるものです。本契約書をよくお読みの上、本契約書にご同意いただいた場合には、お手数ですが本製品添付のユーザー登録カード（保証書と一体で添付されているもの）に必要事項をご記入の上、ご返送いただきますようお願いいたします。

本契約に関して疑義がある場合、もしくは弊社にご連絡を取りたい場合は、以下にご連絡ください。

〒396-0192 長野県伊那市美すず六道原8268 ロジック株式会社 テクニカルサポート
TEL. 03-5326-3667

祝祭日を除く月～金曜日

9:30～12:00、13:00～17:00

1．使用許諾

- (1) 弊社は、添付ソフトウェアプログラム（以下「本ソフトウェア」といいます）を、本ソフトウェアとともに提供されるハードウェア（本ソフトウェアがキットに添付される場合にはキットが組み合わされるハードウェア）において使用できる使用権をお客様に許諾します。
- (2) お客様は、本ソフトウェアを一時に一台のコンピュータにおいてのみ使用することができます。ネットワークシステムの場合は、一時に一台の端末でのみ使用することができます。

2．著作権

- (1) お客様は本ソフトウェアをその他の著作物と同様に取り扱っていただく必要があります。ただし、バックアップ目的にのみ本ソフトウェアを複製すること、またはオリジナルを保存用のみに保持して本ソフトウェアをハードディスクに組み込むことができます。
- (2) お客様は、本ソフトウェアとともに提供された取扱説明書等の印刷物を複製しないものとします。

3．規制

- (1) お客様は、本ソフトウェアを貸与したり、リースに供することはできないものとします。ただし、お客様は本ソフトウェアとその関連資料の複製物を保有していないこと、および受領者が本契約の条件に合意していることを前提に、本ソフトウェアおよびその関連印刷物を第三者に譲渡することができます。その場合、お客様は本ソフトウェアとともに提供されたハードウェアを同時に当該第三者に譲渡するものとします。

- (2) お客様は、本ソフトウェアをリバースエンジニアリング、逆コンパイルもしくは逆アセンブルをしてはならないものとします。
- (3) お客様は、本ソフトウェアのコピーを分配したり、ネットワークシステム内の1台の端末から他へ電送してはならないものとします。

4．保証

弊社は本ソフトウェアに関して以下の保証のみを行いません。なお、この保証は日本国内のみにて有効なものとします。

- (1) お客様が本ソフトウェアをお受け取りになった日から1年以内に弊社が本ソフトウェアの誤りの修正を行なったときは、弊社はその修正内容をお客様に提供するものとします。ただし、弊社がその裁量により情報の提供を決定した場合に限りです。
- (2) 本ソフトウェアの記録媒体に、本ソフトウェアの使用に支障を来すような物理的欠陥があった場合には、お客様が本ソフトウェアをお受け取りになった日から30日以内にご連絡をいただければ、弊社は当該記録媒体を無償で交換（ただし、弊社が当該欠陥を弊社の責任によるものと認めた場合に限りです。）するものとします。これをもって記録媒体に関して弊社が行なう唯一の保証とします。

5．免責

- (1) 弊社は、本ソフトウェアを使用した結果に関していかなる保証も行いません。本ソフトウェアに関して発生する問題は、お客様の責任及び費用負担によって処理されるものとします。
- (2) 弊社は、本ソフトウェアおよびその関連印刷物および本ソフトウェアとともに提供されたハードウェアに関して、商業的に有用であること、特定の目的に適合すること等に関し、明示的にも黙示的にも一切の保証をしないものとします。
- (3) いかなる場合であっても弊社は、お客様が本ソフトウェアを使用することにより生じる商業的利益の逸失、商業の支障その他のいかなる損害について、たとえかかる損害が生じる可能性があることにつき通知を受けていた場合であっても一切の責任を負わないものとします。

6．その他

- (1) 弊社は、ユーザー登録カードにより登録をいただけないお客様に対しては、バージョンアップサービスその他のサポートサービスを行なう義務を負いません。
- (2) 本契約に関する紛争は、東京地方裁判所を管轄裁判所として解決するものとします。

ごあいさつ

この度は弊社製品をお買い上げいただきまして、誠に有り難うございました。本書は製品に関する設定 / 接続方法、機能 / 仕様等についてのご説明をいたしますので、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

弊社製品によって、お客様のパソコン環境がより便利なものとなりますよう心からお祈りいたします。

ご注意

本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、一 項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

本製品を使用した環境で、データがハードウェアの故障、誤動作、その他どのような理由によって破壊された場合でも、弊社での保証はいたしかねます。万一に備えて、重要なデータはあらかじめバックアップするようお願いいたします。

弊社は、本製品の仕様 お客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

* MS[®]、Windows[®]は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国での登録商標です。本書に記載されているパソコンの機種名等は各社の商標または登録商標です。

付属品の確認 (LPM-CA20FP3)

PCカードアダプタ	1 台
インターフェースボード	1 枚
接続ケーブル (本製品専用: 約500mm)	1 本
ネジ	4 本
ユーティリティソフトウェア	
「LPM-CA20FP3 ドライバ (CD-ROM)	1 枚
保証書 / ユーザー登録カード	1 枚
PCカードアダプタ・ユーザーズマニュアル	本書

本製品は精密電子機器です。輸送時には必ず付属の梱包材をご使用
ください。

付属品の確認 (LPM-CA10RP)

PCカードアダプタ	1 台
ユーティリティソフトウェア	
「LPM-CA20FP3 ドライバ (CD-ROM)	1 枚
保証書 / ユーザー登録カード	1 枚
PCカードアダプタ・ユーザーズマニュアル	本書

本製品は精密電子機器です。輸送時には必ず付属の梱包材をご使用
ください。

第1章 製品のご紹介

1.1 製品の概要

本製品は、ミニタワーパソコン等にPCカードを接続するためのPCカードアダプタです。本製品には以下のような特徴があります。

製品の特徴（共通）

- ・PC Card Standard に準拠していますので、PC Card Standard に対応した TYPE 1、TYPE 2 のPCカードを接続することができます。（TYPE 1は、TYPE 2を含みます。）
- ・3.3V 駆動のPCカードを使用可能です。
- ・ノートパソコンに装備されているPCカードスロットと同様な環境を提供しますので、PCカード付属のドライバ等をそのまま使用することができます。

LPM-CA20FP3の特徴

- ・PCカードスロットを2つ装備していますので、TYPE 1のPCカードを同時に2枚まで接続することができます。また、TYPE 2のPCカードを接続した場合でも、TYPE 1のPCカードを併用することができます。
- ・DOS/Vパソコンの5インチベイまたは3.5インチベイに装着することによって、各種のPCカードを使用することができます。

LPM-CA10RPの特徴

- ・PCIスロットに接続することにより、各種のPCカードを使用することができます。
- ・弊社製無線LANカード（PCカードタイプ）に対応しています。

1 . 2 使用環境について

接続可能なパソコン

DOS/V パソコン
PC98-NX シリーズ

すべて、PCI バススロットを搭載した機種に限ります。
LPM-CA20FP3 の場合は、5 インチベイもしくは 3.5 インチベイを搭載した機種に限ります。



ご注意

- ・発売されているすべての機種で接続確認することは不可能です。そのため、一部に対応できない機種が存在する可能性があることは、あらかじめご承知おきください。
 - ・LPM-CA20FP3 では、付属接続ケーブルより長い接続ケーブルは用意されていません。したがって、フルサイズのタワー型パソコンの場合、ケーブル長の不足から接続ができない場合があります。
-

対応 OS

本製品は以下の OS で使用することができます。いずれの OS も日本語版に限定されます。またパソコン本体が対応していない OS では使用することができません。

Windows XP Home Edition/Professional
Windows Me
Windows 98 (Second Edition 含む)
Windows 2000 Professional

本製品を使用するためには、ドライバのインストールおよびドライバのアップデートの作業が必要になります。作業手順は OS により異なりますので、第 3 章 ~ 第 5 章のうち、ご使用の OS に対応した章をご参照ください。



ご注意

- ・ パソコンの機種により、使用できないOS やバージョンもあります。パソコンに対するOSの対応の可否は、パソコン本体メーカーにお問い合わせください。
 - ・ PCカードの機種により、使用できないOS やバージョンがあります。PCカードに対するOSの対応の可否は、PCカードメーカーにお問い合わせください。
 - ・ 本製品を以下のOSの環境で使用することはできません。
 - Windows 95
 - Windows NT
 - DOS (MS-Windows3.1を含む)
 - ・ 最新の情報については弊社ホームページをご参照下さい。
-

使用可能なPCカード

本製品で使用可能なPCカードは以下の通りです。

1.8 インチハードディスクカード
(東芝 モバイルディスク, LPM-HD シリーズ)
FLASH-ATA カード
SCSI I/F カード
LAN カード
DATA/FAX モデムカード
モバイル通信カード
無線 LAN カード

以下のカードを使用する場合は、専用のPCカードアダプタが必要です。

CompactFlash カード
microdrive カード
SmartMedia カード
メモリースティック
SDメモリーカード (マルチメディアカード含む)



ご注意

本製品で、以下のPCカードを使用することはできません。

マルチファンクションのPCカード
Card Bus仕様のPCカード (注)
ZV Port対応のPCカード

弊社のPCカードでは、以下の製品の動作が確認されています。(各カードに固有の制限事項がある場合は、その制限事項に準じます。)

ハードディスクカード

: LPM-HD5G, LPM-HD2G, LPM-HD1G

CompactFlash カードアダプタ

: 弊社製の以下の型番で発売されている CompactFlash アダプタを使用可能です。

型番 LMC-CFAD

マルチメモ리카ードアダプタ

: 弊社製の以下の型番で発売されているマルチメモリーカードアダプタを使用可能です。下記アダプタには、スマートメディア、SDメモリーカード、メモリースティック、マルチメディアカードをセットしてご使用になれます。

型番 LMC-CA41AD2

FLASH-ATA カード

: LPM-FD12,FD16,FD20,FD32,FD40,FD48,FD80,FD128,FD160,FD5M,FD10M,FD20M,FD40M,FD5MA,FD10MA,FD20MA,FD40MA,FD85MA

SCSI I/F カード

: LPM-SCSI2,SCSI2A,SCSI2D,SCSI2E

LAN カード

: LPM-LN20T, LN20T2, LN10TE, LN100TX, LN100TE, LN100TL

DATA/FAX モデムカード

: LPM-FM288,FM336,FM560,FM560A,FM560B,FM560D,FM560E

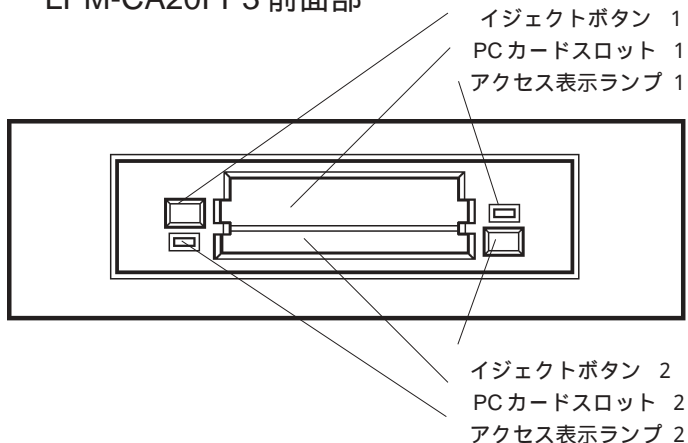
無線 LAN カード

: LWN-B11P、LWN-B11PS、LWN-A54CBS ()

LWN-A54CBS は LPM-CA10RP のみ使用可能です。

1.3 各部の名称と使い方

LPM-CA20FP3 前面部



PCカードスロット 1

PCカードスロット 2

PCカードをセットする部分です。PCカードの表の面（一般的にイラスト等が記載された面）を上にして、シャッターを押しながら静かに差し込んでください。最後まで差し込むと、イジェクトボタンが飛び出した状態になります。

TYPE のPCカードを使用する場合は、「PCカードスロット1」に接続してください。「PCカードスロット2」にTYPE のPCカードを接続することができます。

イジェクトボタン 1 : PCカードスロット 1用

イジェクトボタン 2 : PCカードスロット 2用

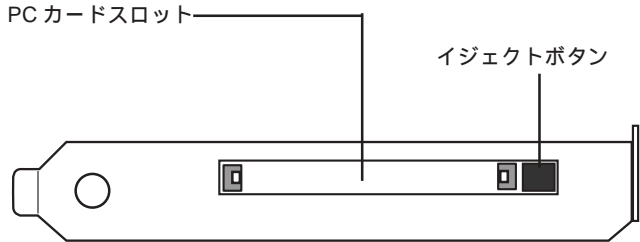
このボタンを押すと、PCカードを取り出すことができます。アクセス表示ランプが点灯しているときには、絶対に押さないでください。

アクセス表示ランプ 1 : PCカードスロット 1用

アクセス表示ランプ 2 : PCカードスロット 2用

PCカードに対してアクセスが行われているときに点灯します。

LPM-CA10RP



1

PC カードスロット

PC カードをセットする部分です。PC カードの表の面（一般的にイラスト等が記載された面）を上にして、シャッターを押しながら静かに差し込んでください。最後まで差し込むと、イジェクトボタンが飛び出した状態になります。

イジェクトボタン

このボタンを押すと、PC カードを取り出すことができます。PC カードへアクセス中のときには、絶対に押さないでください。

1 . 4 ご使用上のご注意

PCカード使用について

PCカードを本製品に接続して使用する際には、PCカード付属の取扱説明書をご参照の上別途PCカードのドライバのインストールを行ってください。(この作業は次章以降で説明する本製品の接続・ドライバのインストール作業が正常に終了し、本製品が使用可能となった後に行います。)



ケーブル等を接続して使用するタイプのPCカードについてのご注意

PCカードには、SCSI I/Fカードのように専用のケーブルを接続する必要があるタイプのPCカードがあります。PCカードは薄く設計されていますので、ケーブルとPCカードの接続部分(コネクタ等)が通常の機器ほど頑丈にはできていません。ケーブルとPCカードの接続部分(以下の説明では「コネクタ部分」と表記します。)に負担がかかると、接触不良や接続部分の破損の原因となりますのでご注意ください。

以下に、ご注意ください使用環境をあげてみます。

ノート型パソコンにPCカードを接続する場合、PCカードスロットは高くてもノート型パソコンの厚み程度の場所に位置します。ところが、本製品をパソコン(特にミニタワー型)に接続した場合、PCカードスロットが非常に高い位置に設置されます。

したがって、ケーブルの長さが十分でない場合や、ケーブル自体の重量が重い場合、「コネクタ部分」に負担がかかる場合があります。

ケーブルやケーブルを接続する機器の設置には、十分ご注意ください。

ケーブルを接続するタイプのPCカードを2枚同時に接続する場合、ケーブル同士が重なってしまい、それぞれの「コネクタ部分」に負担がかかる場合があります。ケーブル同士が重なってしまう場合には、2枚同時に接続しないでください。

ケーブルを接続するタイプのPCカードを1枚しか接続しない場合でも、「コネクタ部分」がPCカードよりも厚いと、2枚目のPCカードの接続ができない場合があります。また、2枚目のPCカードを接続する際に、無理をすると「コネクタ部分」に負担がかかる場合があります。このようなときには、ケーブルを接続しないタイプのPCカードを先に接続してください。

第2章 接続について

本章では製品を接続する手順についてご説明します。LPM-CA20FP3 と LPM-CA10RP では接続の手順が異なりますので、それぞれ該当する部分をご参照ください。

LPM-CA20FP3 を接続する場合

LPM-CA20FP3 を接続するには本体を5インチベイに格納し、本製品付属のインターフェイスボードをPCIバスのスロットに接続する必要があります。カバーなどの取り外し手順や、PCIバスのスロットの位置はパソコン本体によって異なりますので、あらかじめパソコン本体の取扱説明書でご確認ください。

(本製品を3.5インチベイに格納して使用する場合は5インチベイのハウジングを取り外す必要があります。取り外し方法については18ページをご参照ください。)



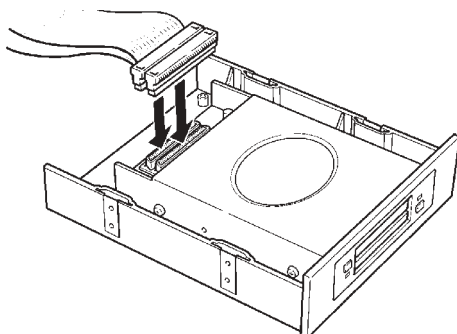
パソコン本体の電源をOFFにして、電源コードを含む全てのケーブルを外してください。(特にATX規格のパソコンに接続する場合は、必ず電源コードを外してください。)

パソコン本体のカバーを取り外してください。(パソコン本体のフロントマスクは、必要に応じて取り外してください。)

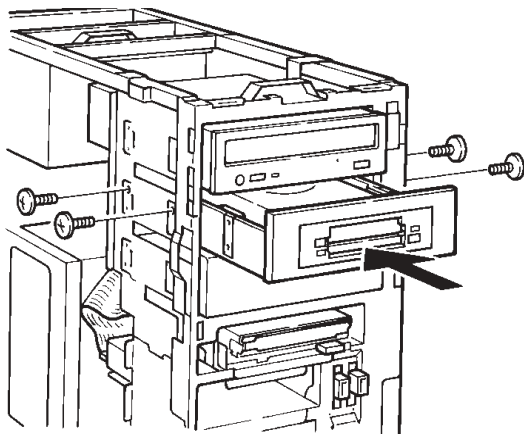
・5インチベイに金属製のカバーがある場合、内部カバーを取り外してください。

・フロントマスクを取り外す必要がないパソコンの場合、5インチベイのカバーを取り外してください。

本製品付属の接続ケーブルを、本製品のコネクタに接続します。接続ケーブルには方向性がありますので、接続図の方向で接続してください。コネクタは2個ありますので、2個ともしっかりと差し込まれていることを確認してください。



本製品を 5 インチベイに接続します。パソコン本体内部の金属部分で、接続ケーブルを傷つけないように注意して、本製品を 5 インチベイに差し込んでください。側面から、本製品付属のネジ 4 本で固定してください。



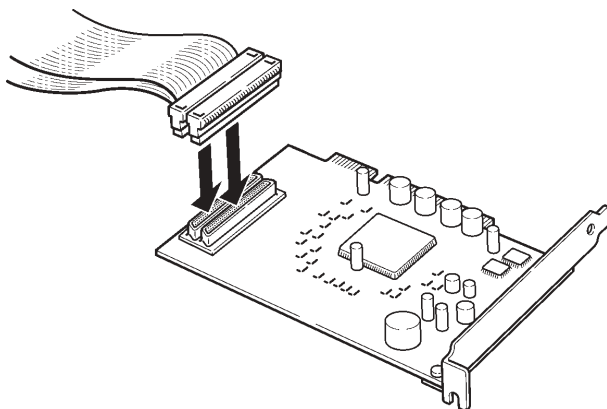
インターフェイスボードを接続する PCI バススロットを選択して、スロットのカバーを取り外してください。

接続ケーブルの残りのコネクタを、インターフェイスボードのコネクタに接続してください。コネクタは 2 個ありますので、2 個ともしっかりと差し込まれていることを確認してください。

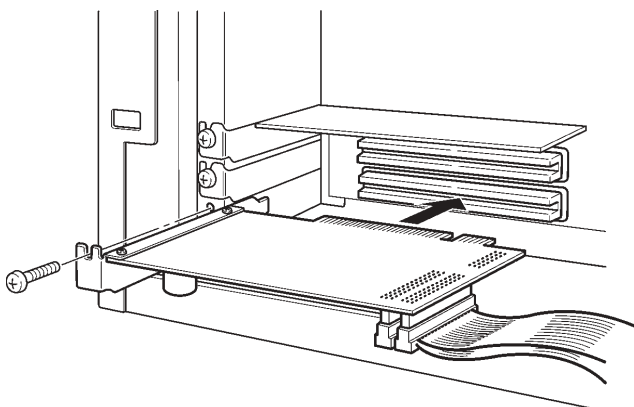


ご注意

接続ケーブルは、コネクタ部分に無理がかからないように、パソコン内部での取り回しに注意して接続してください。また、CPU の放熱器やメモリ等、高熱を発生する部品に接触することがないように、十分注意してください。



インターフェイスボードを、PCIバススロットに接続します。なるべく垂直に差し込んで、完全にセットされたことを確認したら、スロットのカバーを止めていたネジで固定してください。



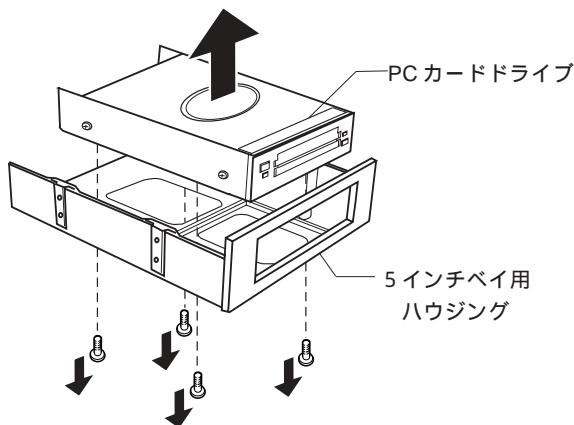
パソコン本体のカバーを元に戻します。このとき、内部ケーブルなどを挟み込まないように十分注意してください。(フロントマスクを取り外したパソコンの場合には、フロントマスクの5インチベイのカバーを取り外してから、フロントマスクを取り付けてください。)

電源コードを接続してください。以上で接続は終了です。続いて、ドライバのインストールを行います。

3.5 インチベイに接続する場合は・・・

本製品は、5インチベイ用のハウジングが取り付けられた状態で出荷されています。そのため、本製品を3.5インチベイに接続したい場合は5インチベイ用のハウジングを外す必要があります。

5インチベイ用のハウジングを外したい場合は、下図のように底面のネジ4本を取り外して、PCカードドライブを上を持ち上げてください。



ご注意

- ・本製品を5インチベイに接続する場合、この作業は必要ありません。
- ・3.5インチベイはパソコン本体の機種によって形状や取り扱いがまったく異なります。そのため、本製品を3.5インチベイに接続する場合は、パソコン本体の取扱説明書にしたがって作業を行ってください。

LPM-CA10RP を接続する場合

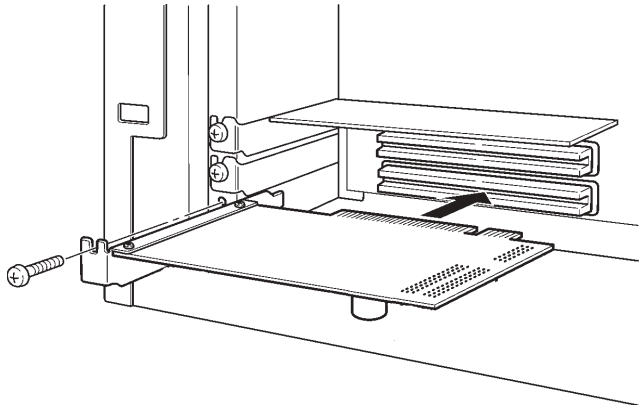
LPM-CA10RP を接続するには本体を PCI バスのスロットに接続する必要があります。カバーなどの取り外し手順や、PCI バスのスロットの位置はパソコン本体によって異なりますので、あらかじめパソコン本体の取扱説明書でご確認ください。

パソコン本体の電源を OFF にして、電源コードを含む全てのケーブルを外してください。(特に ATX 規格のパソコンに接続する場合は、必ず電源コードを外してください。)

パソコン本体のカバーを取り外してください。

インターフェースボードを接続する PCI バススロットを選択して、スロットのカバーを取り外してください。

インターフェースボードを、PCI バススロットに接続します。なるべく垂直に差し込んで、完全にセットされたことを確認したら、スロットのカバーを止めていたネジで固定してください。



パソコン本体のカバーを元に戻します。このとき、内部ケーブルなどを挟み込まないように十分注意してください。

電源コードを接続してください。以上で接続は終了です。続いて、ドライバのインストールを行います。

第 3 章

Windows® XP , 2000 で 使用するためには

本章では Windows XP、2000 環境にドライバをインストールして本製品が使用可能になるまでの手順を説明します。インストールの手順は LPM-CA20FP3、LPM-CA10RP 共に同じです。

3 . 1 ドライバのインストール

3 . 1 . 1 Windows XP の場合

3

1

本製品の接続が終了したら Windows XP のシステムを起動して管理者権限をもつユーザー（例えば「コンピュータの管理者」）としてログオンしてください。

2

システムの起動中に、「Ricoh R/RL/5C476(II) or Compatible CardBus Controller」() のドライバが自動インストールされます。(この間、ユーザーが操作を行う必要はありません。)

LPM-CA10RP では「Ricoh R/RL/5C475(II) or Compatible CardBus Controller」のドライバが自動インストールされます。

Point

ポイント

Windows xp には、本製品を認識可能なドライバが標準添付されていますので、本製品を接続すると自動的に標準ドライバがインストールされ使用可能な状態になります。

以上でドライバのインストールは終了です。続いてインストールが正しく行われているかを確認します。「3 . 2 インストール結果の確認」へお進みください。

3 . 1 . 2 Windows 2000 の場合

Windows 2000をご使用の方は以下の手順でドライバのインストールを行ってください。ドライバのインストールは第2章での本製品の接続が正常に終了していることを前提とします。

1

本製品の接続が終了したらWindows 2000のシステムを起動して管理者権限をもつユーザー（例えば「Administrator グループ」等）としてログオンしてください。

2

システムの起動中に、「Ricoh R/RL/5C476(II) or Compatible CardBus Controller」()のドライバが自動インストールされます。(この間、ユーザーが操作を行う必要はありません。)

LPM-CA10RPでは「Ricoh R/RL/5C475(II) or Compatible CardBus Controller」のドライバが自動インストールされます。

3

ご注意

Windows 2000には、本製品を認識可能なドライバが標準添付されていますので、本製品を接続すると自動的に標準ドライバがインストールされますがWindows 標準のドライバでは動作しませんので、弊社から供給されるドライバのインストールを行う必要があります。手順へお進みください。

3

インストールが終了後、本製品付属の「LPM-CA20FP3 ドライバ」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットしてください。

ここでCD-ROMドライブの自動挿入機能が有効になっている場合には、CD-ROMをセットすると自動的にセットアップランチャーが起動します。手順へお進みください

セットアップランチャーが起動しない場合は、「マイコンピュータ」を開きCD-ROMドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

3.1 ドライバのインストール

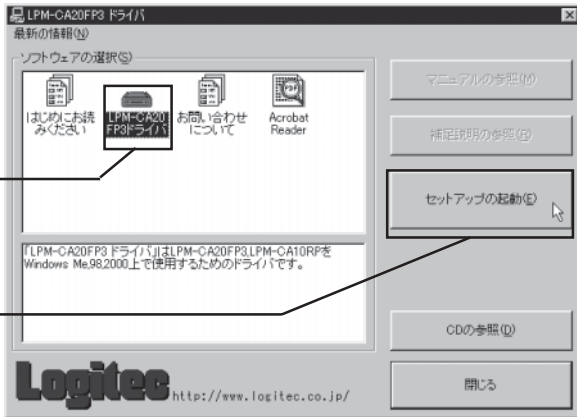
Windows 2000 の場合

4

セットアップランチャーが起動して以下のウィンドウが表示されます。

1. 「LPM-CA20FP3 ドライバ」のアイコンをクリックして選択状態にして、

2. 「セットアップの起動」をクリック



3

5

ドライバをインストールするセットアッププログラムが起動し、以下のウィンドウが表示されます。

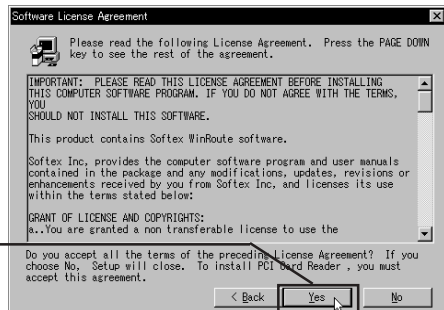
「Next」ボタンをクリック



6

「Software License Agreement (使用許諾契約)」が表示されます。内容を確認して同意する場合は「Yes」ボタンをクリックします。(ここで「No」ボタンをクリックするとインストールが中止されます。)

内容を確認して同意する場合は「Yes」ボタンをクリック



7

インストール先を指定するウィンドウが表示されます。特に問題がない場合はそのまま「Next」をクリックすると「Destination Folder」の下に示されたディレクトリにソフトウェアがインストールされます。

特に問題がない場合は「Next」ボタンをクリック



インストール先を指定する場合は「Browse...」ボタンをクリックして別の場所へインストールすることもできます。

8

必要なファイルがハードディスクに転送され、終了すると以下の画面が表示されます。「LPM-CA20FP3 ドライバ」CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出してから、「Yes, I want to restart my computer now」のラジオボタンが「ON ()」の状態です。「Finish」ボタンをクリックしてください。

1. 「Yes, I want...」のラジオボタンが「ON ()」の状態で、

2. 「Finish」ボタンをクリック



システムが再起動されます。以上でドライバのインストールは終了です。続いてインストールが正しく行われているかを確認します。「3.2 インストール結果の確認」へお進みください。

3

3.2 インストール結果の確認

システムが再起動したら最後に以下の手順でインストール結果を確認します。

Windows XP では、

「スタート」ボタンをクリック

表示されるスタートメニューから「マイコンピュータ」を右クリック

表示されるサブメニューから「プロパティ」をクリック。

Windows 2000 では、

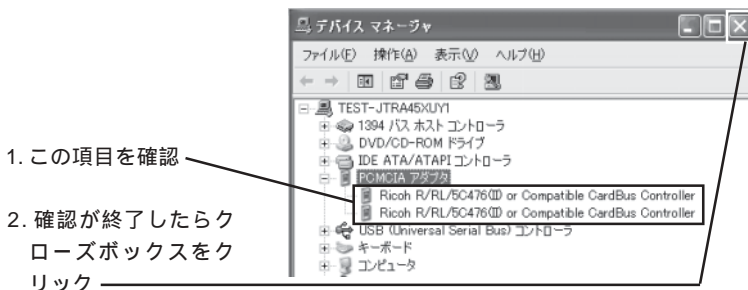
「マイコンピュータ」のアイコンを右クリック

表示されるメニューから「プロパティ」をクリック

「システムのプロパティ」のウィンドウが表示されますので、「ハードウェア」タブをクリックして、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックしてください。

「デバイスマネージャ」のウィンドウが表示されますので、一覧の中から「PCMCIA アダプタ」をダブルクリックして、その下に「Ricoh R/RL/5C476(II) or Compatible CardBus Controller」が2つ () 表示されることを確認してください。

LPM-CA10RP では「Ricoh R/RL/RT/RC/5C475 () , R5C520 or Compatible Card Bus Controller」が1つ表示されることを確認して下さい。



注) 画面はWindows XP のものですが、表示される内容はWindows 2000 でも同様になります。

これらのデバイスが登録されていたらドライバのインストールは正常に終了しています。これで本製品が使用可能な状態になりました。PCカードを使用する際には別途PCカードのドライバのインストール等を行ってください。

第 4 章

Windows® Me で 使用するためには

4 . 1 ドライバのインストール

Windows Me をご使用の方は以下の手順でドライバのインストールを行ってください。ドライバのインストールは第 2 章での本製品の接続が正常に終了していることを前提とします。

LPM-CA20FP3、LPM-CA10RP では、画面に表示されるドライバ名が異なりますがインストールの手順は同じです。

1

本製品の接続が終了したら Windows Me のシステムを起動してください。システムの起動中に「新しいハードウェアの追加ウィザード」が起動し以下のウィンドウが表示されます。

1. 「適切なドライバを自動的に
に...」のラジオボタンが
「ON ()」の状態で

2. 「次へ」をクリック



2

「Ricoh RL5C476 CardBus Controller () 新しいハードウェアのインストールが完了しました。」と表示されていることを確認して、「完了」ボタンをクリックしてください

1. この部分を確認して

2. 「完了」をクリック



LPM-CA10RP の場合は手順 1、2 の画面とも「Ricoh RL5C475 CardBus Controller」と表示されます。これ以降の画面も全て同じです。

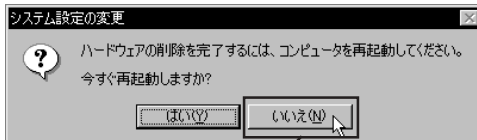
3

「システム設定の変更」のウィンドウが表示されます。「今すぐ再起動しますか？」を表示されますが、ここでは再起動を行いませんので「いいえ」ボタンをクリックしてください。



重要!

LPM-CA10RPをご使用の場合は、手順4～6のウィザードは表示されません。この後は、手順7へお進みください。



「いいえ」をクリック

4

再度「新しいハードウェアの追加ウィザード」が起動し以下のウィンドウが表示されます。ここでは手順と同じように進んでください。

1. 「適切なドライバを自動的に...」のラジオボタンが「ON ()」の状態

2. 「次へ」をクリック



5

手順で表示された画面が再度表示されます。表示画面を確認して、「完了」ボタンをクリックしてください。

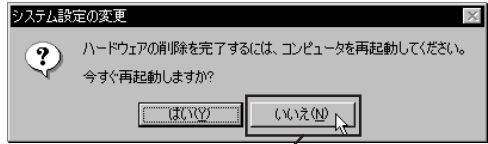
1. この部分を確認して

2. 「完了」をクリック



6

「システム設定の変更」のウィンドウが表示されます。「今すぐ再起動しますか？」を表示されますが、ここでも再起動は行いませんので「いいえ」ボタンをクリックしてください。



「いいえ」をクリック

7

本製品付属の「LPM-CA20FP3 ドライバ」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットしてください。

ここでCD-ROMドライブの自動挿入機能が有効になっている場合には、CD-ROMをセットすると自動的にセットアップランチャーが起動します。手順へお進みください

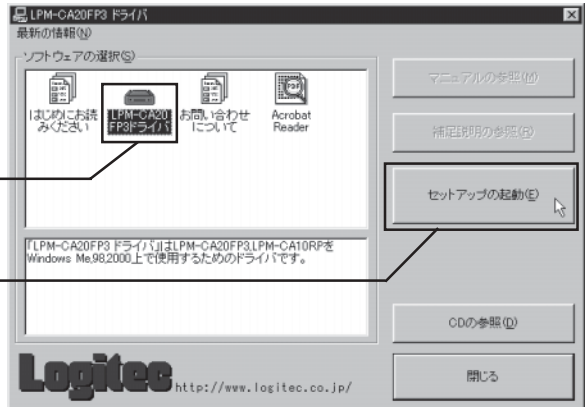
セットアップランチャーが起動しない場合は、「マイコンピュータ」を開きCD-ROMドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

8

セットアップランチャーが起動して以下のウィンドウが表示されます。

4

1. 「LPM-CA20FP3 ドライバ」のアイコンをクリックして選択状態にして、
2. 「セットアップの起動」をクリック



9

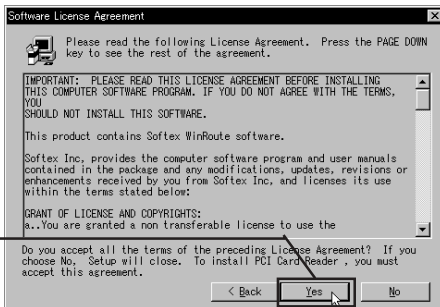
ドライバをインストールするセットアッププログラムが起動し、以下のウィンドウが表示されます。



「Next」ボタンをクリック

10

「Software License Agreement (使用許諾契約)」が表示されます。内容を確認して同意する場合は「Yes」ボタンをクリックします。(ここで「No」ボタンをクリックするとインストールが中止されます。)



内容を確認して同意する場合は「Yes」ボタンをクリック

4

11

インストール先を指定するウィンドウが表示されます。特に問題がない場合はそのまま「Next」をクリックすると「Destination Folder」の下に示されたディレクトリにソフトウェアがインストールされます。



特に問題がない場合は「Next」ボタンをクリック

インストール先を指定する場合は「Browse...」ボタンをクリックして別の場所へインストールすることもできます。

12

必要なファイルがハードディスクに転送され、終了すると以下の画面が表示されます。「LPM-CA20FP3 ドライバ」CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出してから、「Yes, I want to restart my computer now」のラジオボタンが「ON ()」の状態です。「Finish」ボタンをクリックしてください。

1. 「Yes, I want...」のラジオボタンが「ON ()」の状態で、

2. 「Finish」ボタンをクリック



システムが再起動されます。以上でドライバのインストールは終了です。続いてインストールが正しく行われているかを確認します。「4.2 インストール結果の確認」へお進みください。

4.2 インストール結果の確認

システムが再起動したら最後に以下の手順でインストール結果を確認します。

デスクトップ上のマイコンピュータのアイコンを右クリックして、表示されるサブメニューから「プロパティ」をクリックしてください。

「システムのプロパティ」のウィンドウが表示されますので、「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。

「デバイスマネージャ」のウィンドウが表示されますので、一覧の中から「PCMCIA ソケット」をダブルクリックして以下の項目が登録されていることを確認してください。

LPM-CA20FP3 の場合

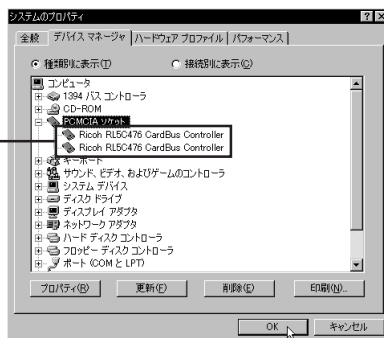
「Ricoh RL5C476 CardBus Controller」が 2 つ

LPM-CA10RP の場合

「Ricoh RL 5C475 CardBus Controller」が 1 つ

LPM-CA20FP3 の場合

この項目を確認



LPM-CA10RP の場合

この項目を確認



これらの項目が登録されていたらドライバのインストールは正常に終了しています。これで本製品が使用可能な状態になりました。PCカードを使用する際には別途PCカードのドライバのインストール等を行ってください。

第 5 章

Windows® 98 で 使用するためには

5.1 ドライバのインストール

Windows 98 (Second Edition も含む) をご使用の方は以下の手順でドライバのインストールを行ってください。ドライバのインストールは第 2 章での本製品の接続が正常に終了していることを前提とします。

LPM-CA20FP3、LPM-CA10RP では、画面に表示されるドライバ名が異なりますがインストールの手順は同じです。

1

本製品の接続が終了したら Windows98 のシステムを起動してください。システムの起動中に「新しいハードウェアの追加ウィザード」が起動し以下のウィンドウが表示されます。

参考：

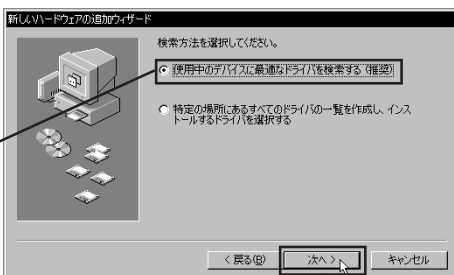
LPM-CA10RP の場合は、この部分に「Ricoh RL5C475 CardBus Controller」と表示されます。これ以降の画面も全て同じです。



2

以下のウィンドウが表示されます。

1. 「使用中のデバイスに最適な...」のラジオボタンが「ON ()」の状態



2. 「次へ」をクリック

5

3

以下のウィンドウが表示されます。

1. 全てのチェックボックスがチェックされていない状態で、

2. 「次へ」をクリック



4

以下のウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック



5

「PC カード(PCMCIA)ウィザード」のウィンドウが表示され、「PC カードを Windows のインストールに使っていますか?」と表示されますので、「いいえ」のラジオボタンが「ON ()」になっている状態で、「次へ」ボタンをクリックしてください。

6

「システムファイルを確認してWindowsが使用不可にするリアルモードPCカードドライバを選びますか?」と表示されますので、「いいえ」のラジオボタンが「ON ()」になっている状態で、「次へ」ボタンをクリックしてください。

7

「PC カードウィザードが完了しました。」と表示されますので、「完了」ボタンをクリックしてください。



参考

「PC カード(PCMCIA)ウィザード」中に「ディスクの挿入」のウィンドウが表示された場合は、Windows98のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットして、「OK」ボタンをクリックしてください。

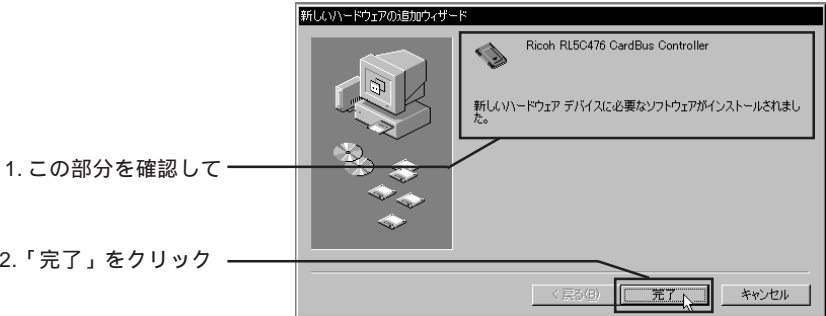
8

「新しいハードウェアの追加ウィザード」のウィンドウへ戻ります。「Ricoh RL5C476 CardBus Controller 新しいハードウェアデバイスに必要なソフトウェアがインストールされました。」と表示されていることを確認して「完了」をクリックしてください。



LPM-CA10RP をご使用の場合は、手順 9 ~ 13 のウィザードは表示されません。この後は、手順 14 へお進みください。

重要！



9

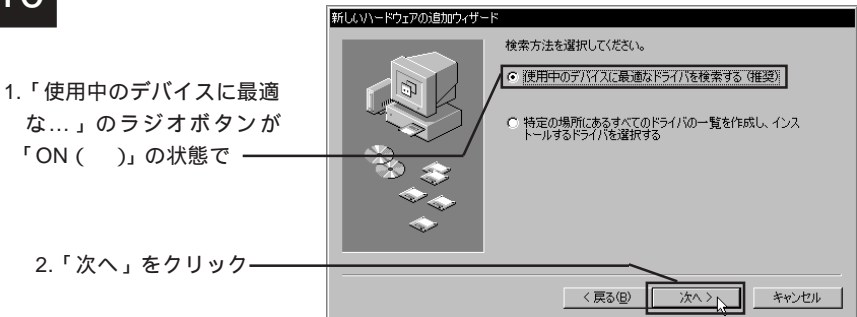
再度、「新しいハードウェアの追加ウィザード」のウィンドウが表示されます。



5

10

以下のウィンドウが表示されます。



11

以下のウィンドウが表示されます。

1. 全てのチェックボックスがチェックされていない状態で、

2. 「次へ」をクリック



12

以下のウィンドウが表示されます。

- 「次へ」をクリック



5

13

手順 5 で表示された画面が再度表示されます。表示画面を確認して、「完了」ボタンをクリックしてください。

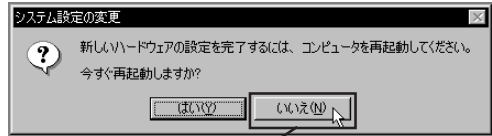
1. この部分を確認して

2. 「完了」をクリック



14

「システム設定の変更」のウィンドウが表示されます。「今すぐ再起動しますか？」を表示されますが、ここでは再起動は行いませんので「いいえ」ボタンをクリックしてください。



「いいえ」をクリック

15

本製品付属の「LPM-CA20FP3 ドライバ」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットしてください。

ここでCD-ROMドライブの自動挿入機能が有効になっている場合には、CD-ROMをセットすると自動的にセットアップランチャーが起動します。手順へお進みください

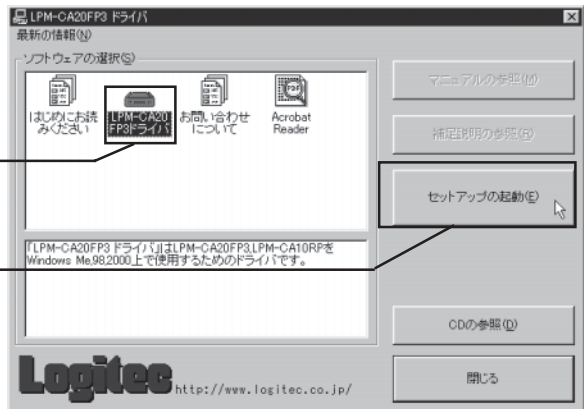
セットアップランチャーが起動しない場合は、「マイコンピュータ」を開きCD-ROMドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

16

セットアップランチャーが起動して以下のウィンドウが表示されます。

1. 「LPM-CA20FP3 ドライバ」のアイコンをクリックして選択状態にして、

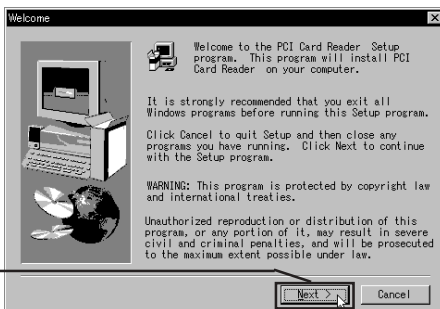
2. 「セットアップの起動」をクリック



5

17

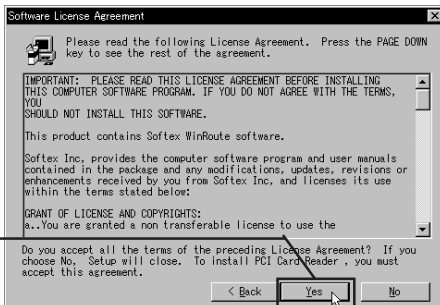
ドライバをインストールするセットアッププログラムが起動し、以下のウィンドウが表示されます。



「Next」ボタンをクリック

18

「Software License Agreement (使用許諾契約)」が表示されます。内容を確認して同意する場合は「Yes」ボタンをクリックします。(ここで「No」ボタンをクリックするとインストールが中止されます。)



内容を確認して同意する場合は「Yes」ボタンをクリック

5

19

インストール先を指定するウィンドウが表示されます。特に問題がない場合はそのまま「Next」をクリックすると「Destination Folder」の下に示されたディレクトリにソフトウェアがインストールされます。



特に問題がない場合は「Next」ボタンをクリック

インストール先を指定する場合は「Browse...」ボタンをクリックして別の場所へインストールすることもできます。

20

必要なファイルがハードディスクに転送され、終了すると以下の画面が表示されます。「LPM-CA20FP3 ドライバ」CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出してから、「Yes, I want to restart my computer now」のラジオボタンが「ON ()」の状態です。「Finish」ボタンをクリックしてください。

1. 「Yes, I want...」のラジオボタンが「ON ()」の状態で、

2. 「Finish」ボタンをクリック



システムが再起動されます。以上でドライバのインストールは終了です。続いてインストールが正しく行われているかを確認します。「5.2 インストール結果の確認」へお進みください。

5.2 インストール結果の確認

システムが再起動したら最後に以下の手順でインストール結果を確認します。

デスクトップ上のマイコンピュータのアイコンを右クリックして、表示されるサブメニューから「プロパティ」をクリックしてください。

「システムのプロパティ」のウィンドウが表示されますので、「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。

「デバイスマネージャ」のウィンドウが表示されますので、一覧の中から「PCMCIA socket」をダブルクリックして以下の項目が登録されていることを確認してください。

LPM-CA20FP3 の場合

「Ricoh RL5C476 CardBus Controller」が 2 つ

LPM-CA10RP の場合

「Ricoh RL 5C475 CardBus Controller」が 1 つ

LPM-CA20FP3 の場合

この項目を確認



LPM-CA10RP の場合

この項目を確認



これらの項目が登録されていたらドライバのインストールは正常に終了しています。これで本製品が使用可能な状態になりました。PCカードを使用するには別途PCカードのドライバのインストール等を行ってください。

第6章 補足事項

6.1 トラブルシューティング

メモリーカードのドライブアイコンが表示されない。またはPCカードに接続されたデバイスのドライブアイコンが表示されない。

本製品は正しく認識されていますか？

使用しているOS上で正常に認識されているか、インストール結果の確認を行なってください。

正常に認識されていない場合は、以下の方法を確認してください。

- ・コンピュータの電源をOFFにして、確実にボードが取り付けられているか確認してください。
- ・本製品付属のドライバがインストールされているか確認してください。Windows 2000、Me、98で使用する場合は本製品付属のドライバがインストールされている必要があります。
- ・パソコン本体に付属されているサポートドライバがインストールされているか確認してください。パソコン本体やマザーボードにドライバが付属している場合があります。また、割り込み要求（IRQ）は自動的に行なわれますが、設定が必要な場合はパソコン本体の取り扱い説明書をご参照ください。

「インストール結果の確認」で正しく認識されている場合は以下の方法を確認してください。

- ・PCカードに付属されているドライバがインストールされているか確認する。使用するPCカードの取り扱い説明書に従って、ドライバのインストールが必要な場合はドライバのインストールをおこなってください。
- ・メモリーカード用のPCカードアダプタでメモリーカードが認識されない場合は以下の手順をおこなってください。

デバイスマネージャー上のディスクドライブに新しく登録されたPCカードアダプタをダブルクリックします。

プロパティの設定を開き、リムーバブルのチェックボックスをチェックします。

開始ドライブ文字を割り当て「OK」ボタンをクリックします。システムを再起動します。

ハードウェア仕様

機種名	LPM- CA20FP3		LPM- CA10RP
対応バス	PCI 2.1 準拠		
スロット仕様	PC Card Standard 準拠 TYPE , TYPE , TYPE		
スロット数	2 スロット		1 スロット
PCカードコントローラ	RICOH R5C476II		RICOH R5C475II
環境条件*1	動作時		パソコン本体に準じる
	保管時	温度	- 20 ~ 50
		相対湿度	10 % ~ 90 %
入力電圧	DC 5V ± 5 %		
消費電流*2	250 mA (Max)		
外形寸法 縦 × 横 × 高さまたは、 縦 × 横	PCカードドライブ: 149 × 42 × 180 mm	141 × 100 mm	
	インターフェースボード: 143 × 98 mm		
重量	約 400 g *3		85 g

*1 ただし結露なきこと。

*2 アダプタ部分のみ。

*3 ドライブ部分のみ

保証書とサービスについて

本製品には、保証書が添付されています。

保証書は販売店で所定事項を記入してお渡ししています。記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

保証期間は保証書に記載されています。お買い上げ日より有効です。

サービスを依頼される場合

修理品については、下記の弊社サービス窓口にお送りいただくか、お求めいただいた販売店へご相談ください。(故障がどうか判断がつかない場合は、事前に弊社テクニカルサポートにお問い合わせください。)

東日本地域にお住まいの方：

〒396-0192 長野県伊那市美すず六道原 8268

ロジテック(株)伊那サービスセンター(3番受入窓口)

西日本地域にお住まいの方：

〒550-0012 大阪府大阪市西区立売堀 1-4-10 四ツ橋パークビル 3F

ロジテック(株)大阪サービスセンター

弊社製モニター、パソコン本体、HDビデオレコーダー製品に限り「大阪サービスセンター」では受け付けておりません。ご注意ください。

保証期間経過後の修理については、有償修理となります。ただし、製品終息後の経過期間によっては、部品などの問題から修理できない場合がありますのであらかじめご了承ください。なお、補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)の最低保有期間は、製品終息後5年間です。

サービスをご依頼される場合には、以下の事項をできるだけ書面にてお買い上げの販売店にお伝えください。

お名前、住所、電話番号

保証書に記載された機種名、シリアルNo.

故障の状態、接続構成、使用ソフトウェア(なるべく詳しく)

お問い合わせについて

弊社ではお客様からのお問い合わせの窓口を用意しています。製品に対する技術的なご質問、取扱説明書に対する質問等は、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。お手紙によりお問い合わせする場合は、上記 ~ の内容をご記入ください。特にご連絡先の電話番号は必ずご記入ください。

ご注意：電子メールによるサポートは行っておりません。文書でお問い合わせをいただく場合には、必ず電話番号/FAX番号をご記入ください。

お問い合わせ先

〒396-0192 長野県伊那市美すず六道原 8 2 6 8

ロジテック株式会社 テクニカルサポート

TEL. 03-5326-3667(東京)

祝祭日を除く月～金曜日 9:30～12:00、13:00～17:00

間違い電話が多くなっております。お問い合わせの際は番号をよく確認して、上記の番号へおかけください。

Logitec PCカードアダプタ・ユーザーズマニュアル

2004年

5月改訂

LPM-CA20FP3 V02B

製造元：ロジテック株式会社

本社：〒111-0043 東京都台東区駒形 1 - 1 2 - 1 4 日本生命浅草ビル

LPM-CA20FP3 V02B

 **ロジテック株式会社**
<http://www.logitec.co.jp/>